

警察組織・活動基盤の整備充実について



警 察 本 部

第1 警察組織の整備充実

1 組織体制の現状	4
(1) 組織概要	4
(2) 定員	5
(3) 令和6年度の組織整備	5
2 優秀・有用な人材の確保	6
(1) 多角的な募集活動	6
(2) 警察官採用試験制度の見直し	6
(3) 警察官採用試験における資質の見極め	7
(4) 多様な人材の確保	7
3 若手警察官の早期育成	7
(1) 初任教養の充実・強化	7
(2) 早期戦力化に向けた職場環境の整備と教養訓練の推進	8
4 女性警察官の採用拡大等	9
(1) 女性警察官の採用拡大	9
(2) 女性警察官の登用拡大	9
(3) 女性警察官の執行力強化	9
5 各種教養の推進	9
(1) 技能指導官等による伝承教養	9
(2) 現場執行力の強化に資する術科教養	9
6 ワークライフバランスの推進	10
(1) 働き方改革	10
(2) 各種休暇の取得促進	10
(3) 仕事と家庭生活の両立支援	10
(4) 男性の育児等への参画支援	10
(5) 各種ハラスメント防止対策	10
7 警察活動の高度化・合理化	11
(1) 科学技術の活用	11
(2) 警察行政手続のデジタル化	11
8 職員の健康の維持増進のための諸対策の推進	11
(1) 心の健康づくり	11
(2) 生活習慣病対策	11

第2 警察施設等活動基盤の整備充実

1 警察施設の整備状況	12
(1) 主な施設の現況	12
(2) 施設整備の概要	13
2 装備資機材等の整備状況	14
(1) 車両	14
(2) 警察用航空機	15
(3) 警察用船舶	16
(4) 装備資機材の整備充実	17
(5) 機動装備隊の編成・運用	17
3 情報処理基盤の整備	18
(1) 情報処理機器の整備状況	18
(2) 情報システムの開発	18
(3) ウェブ会議システムの活用	19
(4) 作業の自動化・事務の効率化の推進	19
(5) 情報処理能力の向上	19

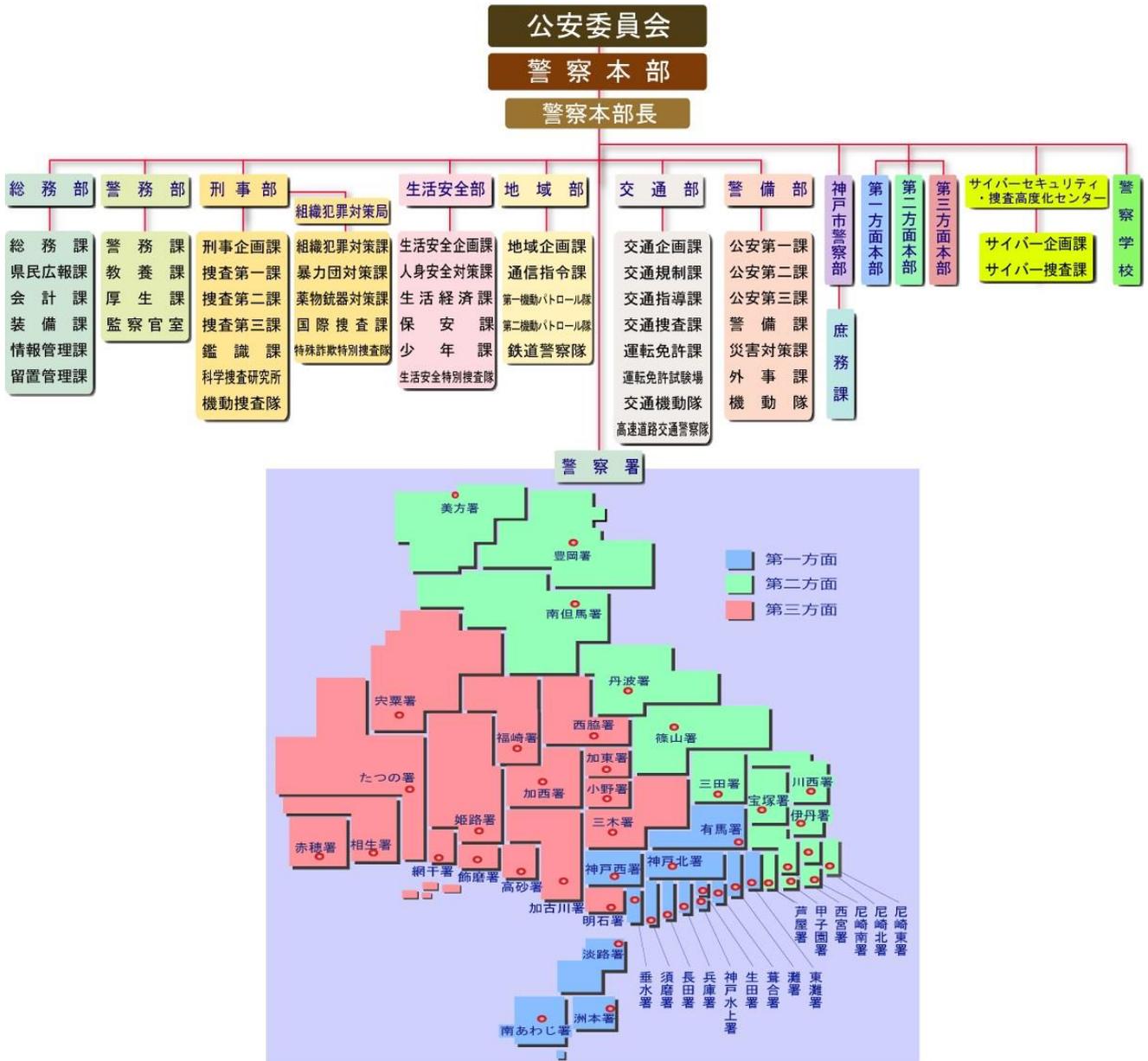
第1 警察組織の整備充実

1 組織体制の現状

(1) 組織概要

本部 7部 1局(組織犯罪対策局)、36課、1室(監察官室)、
 1所(科学捜査研究所)、1場(運転免許試験場)、
 9隊(機動捜査隊ほか)
 1市警察部(神戸市警察部)、3方面本部、
 1センター(サイバーセキュリティ・捜査高度化センター) 2課、
 1校(警察学校)
 警察署 46署

(令和6年4月1日現在)



交番等	交番	417	駐在所	269
	警備派出所	2		

(2) 定員

ア 定員の推移

区分	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
警察官		11,953	11,953	11,953	11,953	12,000
	増減	0	0	0	0	47
	増員	0	0	0	0	47
	削減	0	0	0	0	0
一般職員		923	923	923	923	928
	増減	0	0	0	0	5
	増員	0	0	0	0	5
	削減	0	0	0	0	0
合計		12,876	12,876	12,876	12,876	12,928

イ 警察官階級別定員（令和6年度）

階級	警視	警部	警部補	巡査部長	巡査	合計
定員(人)	300	708	3,545	3,667	3,780	12,000

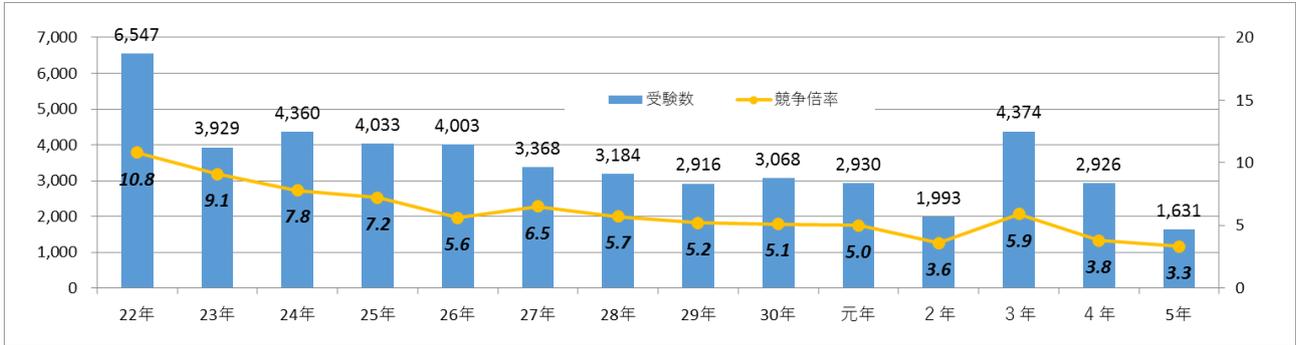
(3) 令和6年度の組織整備

整備項目	概要
サイバー空間における対処能力の向上を図るための体制強化	サイバー空間の安全・安心を確保し、サイバー関係事案に係る犯罪の捜査支援を推進するため、サイバー企画課及びサイバー捜査課の体制を強化した。
組織犯罪対策の体制強化	匿名・流動型犯罪グループに対する実態解明の推進及び検挙体制の強化を図るため、組織犯罪対策課、暴力団対策課及び保安課の体制を強化した。 さらに、匿名・流動型犯罪グループに対する戦略的な取締りを強化するため、組織犯罪対策部門及び保安部門等から成る専従体制を構築した。
特殊詐欺対策の体制強化	他の都道府県警察との捜査嘱託に係る体制を強化するため、特殊詐欺特別捜査隊に連合捜査係を新設し、特殊詐欺の被害の発生が多い西宮警察署に特殊詐欺捜査係を新設した。
テロ等対策のための体制強化	テロ、経済安全保障等の国内外の脅威に関する警備情報の収集活動を推進するため、警備部の体制を強化した。
自転車その他のモビリティ対策の体制強化	道路交通法の一部改正に伴い、特定小型原動機付自転車運転者講習を適切に運用するため、交通企画課自転車対策係の体制を強化し、新たなモビリティに係る事件捜査及びその支援を強化するため、交通指導課指導支援係の体制を強化した。
犯罪抑止対策の体制強化	地域住民、学生ボランティア等による自主防犯活動を活性化させるとともに、地域の防犯力を向上させ、効果的な犯罪抑止対策を強力に推進するため、生活安全企画課に犯罪抑止対策第二係を新設した。
列車内等における警戒活動の体制強化	走行中の列車内等における乗客に対する殺傷事案及び子供と女性に対する性犯罪等への対策を推進するため、鉄道警察隊運用係の体制を強化した。

2 優秀・有用な人材の確保

少子化による就職適齢人口の減少など警察官採用試験を取り巻く状況が厳しさを増す中、優秀・有用な人材を確保するため、各種取組を推進している。

【警察官採用試験の受験状況の推移】



(1) 多角的な募集活動

警察官志望者をより多く確保するため、県内外の高校、大学等への訪問活動、オープンキャンパスや対面とオンラインを併用したハイブリッド型の説明会「兵庫県警察 PR Live (ピーアール ライブ)」の実施に加え、県警ホームページ、民間就職支援サイト、SNS等各種広報媒体を活用した募集活動を行っている。

また、若手警察職員をリクルーターに指定し、効果的に運用するほか、大学生等を対象とした職業体験の開催、県警体育クラブの硬式野球部や空手道部との合同練習会の機会を活用した説明会の実施等、多角的な募集活動を実施している。



【令和6年度警察官募集ポスター】



【オープンキャンパス (訓練体験)】



【県警硬式野球部との合同練習会】

(2) 警察官採用試験制度の見直し

優秀・有用な人材を確保するため、採用試験においては、

- 試験回数を年2回から3回に増加 (平成29年度～)
- 共同試験における女性区分の実施 (令和4年度～)
- キャリアアピール区分の新設 (令和6年度)
- 特別区分における教養試験の廃止 (令和6年度) ※サイバー捜査、心理相談のみ

等の見直しを図った。

(3) 警察官採用試験における資質の見極め

面接試験のノウハウを有する部外講師による研修会を通じた面接官の面接技能の向上や面接試験時間の十分な確保等により面接試験の充実を図っているほか、警察官に特化した独自の適性検査を導入するなどにより、資質の見極めに努めている。



【面接官研修会（模擬面接）】

(4) 多様な人材の確保

専門知識・技能や豊富な社会経験を有する多様な人材を確保するため、サイバー捜査区分等の特別区分、キャリアアピール区分による採用試験を実施している。

また、サイバー犯罪に迅速かつ的確に対応するため、民間会社の技術者を1年間の任期付でサイバー捜査官として採用し、捜査員の育成・教養やサイバー犯罪捜査に関する助言・指導に活用している。

3 若手警察官の早期育成

実務経験の少ない若手警察官の早期戦力化に県警察全体で取り組むため、「若手警察官育成プログラム」を策定し、採用から初任教養（初任科における教養）、その後の職場における教養までを一体的に推進している。

若手警察官育成プログラム



(1) 初任教養の充実・強化

ア 初任科生に対する教育・指導育成の充実

目の行き届いた個別指導を徹底するため、各クラスに学級担任教官、副担任教官を1名ずつ配置している。

また、ゼミ形式の検討会により、自ら学び考える姿勢を培うほか、現場想定訓練を充実させるなど、警察官に求められる資質・技能の修得に努めている。



【ゼミ形式の検討会】

イ 初任科生の体力向上対策の強化

体力向上意識の高揚を目的として、体力検定を計画的に実施するとともに、強靱な体力及び精神力を養うため、柔道、剣道、逮捕術等の各種術科訓練を強化し、精強な第一線警察官の育成に努めている。



【柔道訓練】

(2) 早期戦力化に向けた職場環境の整備と教養訓練の推進

ア 若手警察官の育成に向けた指導体制の確立

若手警察官を多く配置している警察署に40歳未満の警部補昇任者等を優先的に配置して、若手警察官が相談しやすい環境を整えた上、実務を通じたきめ細かな指導を行い、若手警察官の早期戦力化を図っている。

イ 若手警察官育成班による指導強化

本部教養課に編成された若手警察官育成班が、県下各警察署を巡回し、若手警察官を対象とした現場対応訓練や捜査書類作成訓練を実施しているほか、個別面談等により育成状況を把握・分析し、指導の内容・方法に反映させている。

また、オンラインを活用し、個々の能力、要望等に応じた指導や各部門と連携した実務能力向上のための教養を行っている。



【巡回教養】



【オンライン教養】

ウ 実戦的総合訓練の実施

各警察署において、第一線現場で取扱いの多い事案や教訓とすべき事案を題材とした想定に基づき、届出の受理(事案の認知)から現場臨場、職務質問、擬律判断、逮捕、捜査書類の作成までの一連の警察活動について、ロールプレイング方式により訓練を実施している。



【事案想定に基づく実戦的総合訓練】

4 女性警察官の採用拡大等

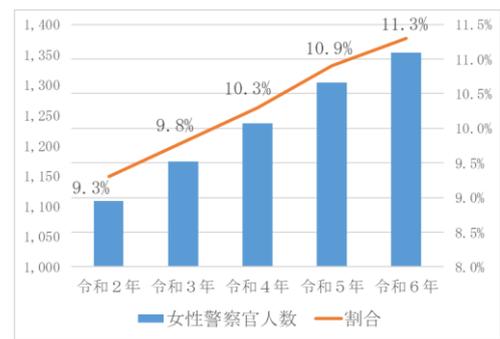
(1) 女性警察官の採用拡大

令和6年4月現在、女性警察官は約1,350人で、条例定数に占める割合は約11.3%となっている。

令和8年4月までに12%とすることを目標に、女子大等への学校訪問活動、女性対象の業務説明会等、募集活動を強化している。

また、結婚、出産、育児、介護等のためにやむを得ず中途退職した警察官を一定の要件の下で再度採用する制度を導入している。

【女性警察官の人数及び割合の推移】



(2) 女性警察官の登用拡大

性犯罪やストーカーの被害女性に対するきめ細かな支援活動など女性の特性を活かすことのできる分野のほか、個々の能力や適性に応じて、管理部門、刑事、生活安全などの捜査部門といった幅広い分野に配置している。

(3) 女性警察官の執行力強化

第一線現場で勤務する女性警察官の執行力強化のため、女性警察官を対象とした逮捕術訓練のほか、女性警察官に必要とされる業務に特化した総合教養を行う女性警察官スキルアップ講習を始めとした女性警察官の実務能力の更なる向上を目指した各種教養を行っている。



【女性警察官スキルアップ講習】

5 各種教養の推進

(1) 技能指導官等による伝承教養

職務質問や鑑識業務などの各専門分野で卓越した専門的スキル等を有する警察官を技能指導官や伝承官に指定し、それぞれの知識、スキルを伝承する教養を組織的に推進している。

(2) 現場執行力の強化に資する術科教養

昨年度から柔道・剣道等の警察術科に空手道を新たに加え、より一層の執行力強化を図っているほか、総合対処法訓練、術科指導者等による交番・駐在所への巡回指導や映像射撃シミュレーターを活用した拳銃使用判断訓練など、実践的な訓練を充実させ、現場執行力強化に資する術科教養を推進している。



【総合対処法訓練】



【空手道訓練】



【拳銃使用判断訓練】

6 ワークライフバランスの推進

「兵庫県警察におけるワークライフバランス等の推進のための取組計画」に基づき、働き方改革、各種休暇の取得促進、仕事と家庭生活の両立支援等のワークライフバランスの実現に向けた取組を推進している。

(1) 働き方改革

働き方についての価値観及び意識の改革の必要性について教養を行うとともに、スライドワーク制やフレックスタイム制を試行的に導入するなど、柔軟で多様な働き方の実現を推進している。

(2) 各種休暇の取得促進

職員の業務能率の向上や心身のリフレッシュを図り、組織の活性化及び警察力の向上を推進するため、年次休暇を始めとする各種休暇の計画的取得を促進している。

年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
年次休暇平均取得日数	10.6	11.3	11.9	11.6	12.3

(3) 仕事と家庭生活の両立支援

職員に対し、福利厚生冊子「いきいきライフ」を活用するなどして、各種制度を周知するとともに、育児・介護を行っている職員については、柔軟な勤務形態の活用や通勤の負担が少ない所属への配置、職場復帰等支援セミナーの開催等、仕事と家庭生活の両立支援を行っている。

また、幹部をはじめとする職員の育児・介護に対する理解の促進を図り、職員が制度を利用しやすい職場環境の構築を推進している。



【福利厚生冊子「いきいきライフ」】



【ウェブ形式による職場復帰等支援セミナー】

(4) 男性の育児等への参画支援

男性職員による家庭生活への参画を目的とした意識啓発に取り組むとともに、子育て支援制度の周知や育児休業の取得に関する意思確認、育児休業する男性警察官の所属する警察署に支援要員を派遣する制度の試行実施を行うなど、男性職員の育児休業等の取得を推進している。

(5) 各種ハラスメント防止対策

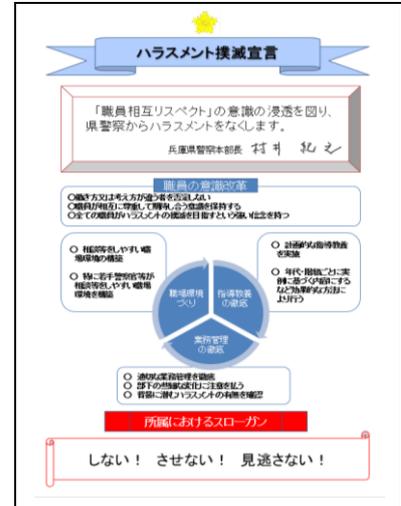
ア 体制の構築

「兵庫県警察ハラスメント防止対策要綱」に基づき、ハラスメントの防止による良好な勤務環境の確保に向け、相談体制の確立等、各種取組を推進しているほか、昨年4月に監察官室内に「ハラスメント対策プロジェクトチーム」を発足させ、専断的に企画・調査を実施している。

イ 各種取組

昨年4月「ハラスメント撲滅宣言」を表明し、各所属でスローガンを定めて掲示させ、浸透を図る取組を行っているほか、本年5月からはハラスメント対策プロジェクトチームと各所属が連動し、「職員相互リスペクト」の意識の浸透を図るための「リスペクトプログラム」を実施している。

また、ハラスメントの早期把握・拡大防止を図るため、各所属でハラスメント相談員を指定するとともに、県警のOAシステムに相談窓口を新設するなど積極的な相談受理に努めている。



【ハラスメント撲滅宣言 警務課】

7 警察活動の高度化・合理化

(1) 科学技術等の活用

限られた人材、財政的資源のもとで最大限に効果を発揮するため、AI技術を活用したサイバーパトロール、画像解析処理等、科学技術を活用し、業務の高度化・合理化を図っている。

(2) 警察行政手続のデジタル化

警察が所管する行政手続について、県民の利便性向上のため、各種申請のオンライン化、手数料や放置違反金の納付方法の多様化等、警察庁や知事部局と連携し、デジタル化に取り組んでいる。

8 職員の健康の維持増進のための諸対策の推進

(1) 心の健康づくり

各執務室の職員の中から指名されたピアサポーターによる積極的な声掛け、部内の医師等による心身の健康相談対応、部外カウンセラー等による専門的な相談対応、部内外の各種相談窓口の周知等に取り組むことで、職員が不安や悩み、困りごと等を相談しやすい環境づくりに努めるとともに、ストレスへの気付きを促し、職場環境の改善を図るため、全職員に対するストレスチェックを実施している。

(2) 生活習慣病対策

生活習慣病予防を目的として、特定保健指導を実施するなど、職員個々の自主健康管理意識の醸成を図っている。

また、定期健康診断の実施及び診断結果に基づく精密検査の受診指導や医師、保健師等による健康相談等の対策を推進している。

第2 警察施設等活動基盤の整備充実

1 警察施設の整備状況

警察活動の基盤である警察署や交番、駐在所等の施設は、地域住民の利便性の確保、職員の勤務能率の向上及び職員の士気の高揚等を図る観点から、建替・改修整備を計画的に推進している。また、高齢者や体の不自由な方等の利便を図るため、建替時には、玄関スロープ、エレベーター等を設置するなど、施設のバリアフリー化も推進するとともに、誰もが使いやすい環境づくりのため、多機能トイレなどユニバーサルデザインを積極的に採用している。

(1) 主な施設の現況

(令和6年4月1日現在)

現有施設数		備考
警察本部	3	本館、別館、第二庁舎
運転免許試験場	2	運転免許試験場(明石)、但馬運転免許センター
運転免許更新センター	4	明石運転免許更新センター 阪神運転免許更新センター 神戸優良・高齢運転者運転免許更新センター 姫路優良・高齢運転者運転免許更新センター
本部執行隊	5	第一機動パトロール隊・機動捜査隊(併設) 第二機動パトロール隊、鉄道警察隊、交通機動隊 高速道路交通警察隊
警察学校	1	本館、生徒寮、講堂、射撃場、体育館
機動隊	1	庁舎、宿舍、潜水訓練棟等
篠山留置施設	1	成人室(12)、少年室(3)、保護室(1)、取調室(22)、 面会室(2)
科学捜査支援センター	1	証拠物件管理室、DNA型鑑定室、画像デジタル記録 解析室等
警察犬訓練所	1	犬房(14)、屋内訓練室、屋外訓練場等
警察署	46	生田警察署ほか45警察署
警察センター	3	兵庫県警察佐用警察センターほか2警察センター
分庁舎	3	豊岡警察署出石分庁舎ほか2分庁舎
交番	417	県下46警察署の管轄区域内に設置
駐在所	269	県下28警察署の管轄区域内に設置
警備派出所	2	大阪国際空港警備派出所、神戸空港警備派出所
待機宿舍	43	西宮待機宿舍等
独身寮	20	ウイング尼崎南等

(2) 施設整備の概要

ア 警察署の耐震改修

平成25年当時に耐震基準を満たしていなかった12警察署のうち、7警察署の耐震改修、3警察署の建替整備を完了し、1警察署の建替整備に着手している。

(ア) 耐震改修

平成27年度完了 加東、朝来（現南但馬）、洲本警察署

平成28年度完了 灘、葺合、甲子園、尼崎北警察署

(イ) 建替整備

平成28年度完了 尼崎東警察署

平成30年度完了 三木警察署

令和4年度完了 尼崎南警察署

令和11年度未完成予定 生田警察署

(ウ) 建替整備検討中

神戸北警察署

【生田警察署の整備概要(予定)】

場 所	現地建替(神戸市中央区中山手通2丁目3番25号)
時 期	完 成：令和11年度末 供用開始：令和12年度～
総事業費	約76億9,000万円
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造10階



【現在の生田警察署】

イ 警察施設の老朽化対策

財政負担の軽減・平準化を図りながら警察施設の機能や安全性を確保するため、平成29年度から「兵庫県公共施設等総合管理計画」に基づき、計画的・効率的な老朽化対策を実施している。



【長寿命化改修中のたつの警察署】

ウ 交番・駐在所の建替整備

耐用年数を経過した施設のうち、損傷や老朽化の著しい施設については改修又は建替整備の検討を行っている。

なお、駅前再開発や移転補償等の特殊事情を伴う場合は個別に建替整備を実施している。



【兵庫警察署湊川交番】

エ 待機宿舎・独身寮の整備

警察署建替時に併せた独身寮の整備や他部局での運用を終えた職員住宅を改修して独身寮等として活用している。

また、耐震性が不十分な待機宿舎等については、計画的に廃止することとしている。



【職員住宅を改修したウイング須磨寺等】

オ 女性警察官の勤務環境改善

警察署等の建替や耐震改修に併せて、女性専用シャワー室や女性専用仮眠室等を順次整備し、女性警察官の勤務環境の改善に努めている。



【三木警察署女性専用仮眠室】

2 装備資機材等の整備状況

迅速、的確な警察活動には、装備資機材の活用が必要不可欠であることから、車両を始めとする各種装備資機材の充実強化に取り組んでいる。

(1) 車両

県下に四輪車2,064台、二輪車1,231台を配備し各種警察活動に活用している。

(令和6年4月1日現在)

○ 四輪車保有状況

車種	台数
四輪車	2,064
捜査用車	742
小型警ら車（ミニパト）	384
無線警ら車（地域パト）	151
交通取締用（交通パト）	101
交通事故処理車等	121
その他警察活動用	565

○ 二輪車保有状況

車種	台数
二輪車	1,231
白バイ	162
警ら用原付車	960
その他警察活動用	109



【無線警ら車】



【交通事故処理車】



【サインカー】



【指揮用車(PHEV)】



【災害活動用車】



【トイレカー】



【白バイ】



【オフロード車】

(2) 警察用航空機

ア 警察用航空機の運用状況

警備課航空隊にヘリコプター2機を配備し、災害派遣等の広域運用及び警衛警護活動等のほか、パトロール活動、緊急配備活動、交通指導取締り活動、山岳遭難・水難救助活動等、ヘリコプターの特性を活かした諸活動に運用している。

○ 警察用航空機の概要

(令和6年4月1日現在)

名称 諸元等	愛称「ひよどり」 ※令和9年3月削減予定	愛称「フェニックス」
		
型 式	レオナルド式 A109E型	エアバスヘリコプターズ式 EC155B1型
全 長	13.07m	14.30m
搭 乗 人 員	8人(含む操縦士)	14人(含む操縦士)
最 高 速 度	約300km/h	
航 続 時 間	2～3時間程度	
航 続 距 離	約500km	約800km
特 殊 装 備	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘリコプターテレビシステム ・救難吊り上げ装置 ・機外物資懸垂装置 ・搬送担架装置(1基) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘリコプターテレビシステム ・救難吊り上げ装置 ・搬送担架装置(1基)

○ 出動状況

区 分	令和4年	令和5年	増減
出 動 件 数	500	528	+28

○ 令和5年中の主な活動状況

月	活 動 内 容
1	大阪、京都、和歌山との4府県合同災害訓練
5	六甲大橋付近における船舶事故への対応
5	G7広島サミットに伴う応援派遣(車列警戒)
6	第48回愛瓢会への秋篠宮殿下お成りにかかる警衛警備
7.8	山陽自動車道における高速道路交通警察隊との合同交通取締り
11	神戸マラソン交通規制状況の確認
11	阪神・オリックス優勝パレードにおける雑踏警備

(3) 警察用船舶

神戸水上警察署及び飾磨警察署に警察用船舶6隻を配備し、パトロール活動や水難救助活動を始め、プレジャーボート等による危険行為の取締り等、各種警察活動に運用している。



【ぬのびき（17m型）】

○ 配備状況（令和6年4月1日現在）

所 属 全 長	神戸水上		飾 磨		計
	船名	船名	船名	船名	
17m型	2	おおわだ ぬのびき			2
12m型	1	しおさい	1	ゆめさき	2
8 m型	1	はやぶさ	1	ささゆり	2
合 計	4		2		6



【ゆめさき（12m型）】

○ 出動状況（令和5年）（日数）

配 備 所 属	船 名	出 動 日 数	出 動 時 間												
			警 務 ら	訪 船 活 動	捜 索 活 動	警 衛 警 護	警 戒 ・ 警 備	広 報 活 動	調 査 活 動	保 護 ・ 救 護	漂 流 物 取 扱 い	変 死 体 取 扱 い	訓 練	そ の 他	合 計
神 戸 水 上	おおわだ	207	1,126	4	57	0	317	8	0	0	0	10	14	7	1,543
	しおさい	225	1,236	5	67	0	339	1	0	0	0	17	4	3	1,672
	ぬのびき	212	1,270	5	53	0	64	10	8	0	3	8	19	13	1,453
	はやぶさ	83	502	0	12	0	4	0	0	0	1	3	2	17	541
飾 磨	ゆめさき	250	641	0	21	0	79	2	2	0	0	2	9	4	760
	ささゆり	93	227	0	13	0	0	2	0	0	0	0	0	21	263
合 計		1,070	5,002	14	223	0	803	23	10	0	4	40	48	65	6,232

(4) 装備資機材の整備充実

災害警備活動における被災者を救助するための装備資機材を始め、テロや大規模な列車・交通事故等、さまざまな事件事故等に対応し得る装備資機材の整備充実に努めている。

○ 装備資機材の保有状況 (令和6年4月1日現在)

品目	主な装備資機材	品目	主な装備資機材
刑事装備品	拳銃検索装置、電動油圧式開口用具	照明広報装備品	投光器、ワイヤレスポータブルアンプ
生活安全装備品	有毒ガス検知器、放射能測定装置	防弾(爆)対策装備品	防弾帽、防弾チョッキ
地域装備品	耐刃防護衣、刺股	光学音響装備品	超小型カメラ、暗視双眼鏡
交通装備品	レーダー速度測定器、ステレオカメラ	治安警備装備品	車両強制停止装置、金属探知機
防災対策装備品	救命ボート、救命索発射装置	個人装備品	機動隊員用防護衣、出動服



【放射能測定装置】



【救命ボート】



【救命索発射装置】



【車両強制停止装置】

(5) 機動装備隊の編成・運用

機動力を駆使し、24時間体制で、事件・事故等の対応に必要な装備資器材の調達、搬送及び装置を行う機動装備隊を編成・運用している。

県下各所属からの要請に応じて、捜査用カメラの設置等を行うほか、各地で行われる防災訓練等において警察装備の展示説明等を行っている。



【行方不明者捜索(投光器)】



【火災現場(ブルーシート設置)】



【音響設備の設置(年頭視閲式)】



【警察装備品展示(防災訓練)】

3 情報処理基盤の整備

事務の合理化、効率化を図り、各種警察事象に迅速、的確に対応するため、情報処理機器の整備、情報システムの開発、職員の情報処理能力の向上に取り組んでいる。

(1) 情報処理機器の整備状況

(令和6年4月1日現在)

機 器	台 数	運 用 所 属	
汎用コンピュータ	1	運転免許課	
サーバコンピュータ	9	情報管理課	
端末装置（パーソナルコンピュータ）	9,762	本部 3,576	警察署 6,186
PⅢ形データ端末	2,852	本部 565	警察署 2,287
放置車両確認処理用携帯端末	200	本部 3	警察署 197

警察官が現場活動で使用する端末



【PⅢ形データ端末】



【放置車両確認処理用携帯端末】

(2) 情報システムの開発

外部委託のほか、積極的に県警職員による部内開発を進めており、警察官の現場活動を支援する情報システムの充実に努めている。

主なシステム名	概要	部内開発
警察総合相談管理システム	警察に対する苦情・相談の受理及び措置結果等を一元管理することにより、県民の立場に立った警察行政を支援するもの。	○
給与管理システム	職員の給与、昇給及び休暇取得状況等を登録して給与関係資料の総合的な管理を行うもの。	
地域安全総合対策システム	犯罪事件、犯罪の前兆とみられる事案に関する情報その他犯罪捜査に資する情報を集約し、効率的な検索及び分析を支援するもの。	
特殊詐欺情報管理システム	特殊詐欺に関する被害、相談等の情報を一元管理することにより、関係所属との情報共有を容易にするもの。	○
交通事故抑止システム	人身事故データを登録し、事故原因等の分析を行い、効果的な事故抑止対策を推進するもの。	
緊急通行車両等管理システム	緊急通行車両等の情報を一元管理することにより、災害警備活動を支援するもの。	○

(3) ウェブ会議システムの活用

県警ネットワーク内にウェブ会議システムを構築し、各種会議、研修、教養等に活用している。



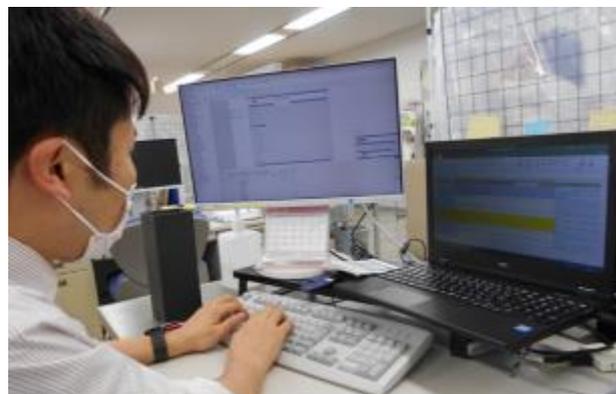
【ウェブ会議の開催状況】

(4) 作業の自動化・事務の効率化の推進

RPA (Robotic Process Automation: ソフトウェアロボットによる作業の自動化) 技術を活用して、統計資料の作成や個別メールの一括送信などの定型作業の自動化を行うことにより、事務の効率化を図っている。



【RPAによる作業の自動化のイメージ】



【RPAの設定作業の状況】

(5) 情報処理能力の向上

新規採用者に対する学校教養や新任情報管理担当者に対する職場研修を実施して、警察職員としての高い情報モラルの醸成を図っている。

また、情報処理能力を測る級位検定を実施して、職員個々の情報リテラシーの向上を推進している。



【新任情報管理担当者に対する研修の実施状況】